

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 白松苑

目標達成計画

作成日：令和 7 年 3 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	理念を細分化させて、職員に浸透できるように工夫してみたいかでしょうか。	定期的に法人の理念及び基本方針、グループホームの理念及び基本方針について、すべての職員で共有し実践につなげる	法人及びGHの理念と基本方針について、毎月の定例会議で14項目(法人理念3、法人基本方針4、GH理念3、GH基本方針4)を1項目ずつ取り上げ、取り組んだことなどの意見を出し合い、共有し実践につなげていく	12ヶ月
2	35 (15)	ヒヤリハットやスピーチロックについて再確認の場を設けてみたいかでしょうか。	定期的にヒヤリハットノートなどを活用し、事故防止につなげる。また、スピーチロック減少を目指す	毎月の定例会議でヒヤリハットノートを共有し事故防止の意見を出し合う。また、1か月以内の自身や見聞きしたスピーチロックを共有し、スピーチロックの減少につなげていく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。